

# 平成29年度事業報告書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

## 1 成果

### (1) 就労移行支援事業

本法人の設立3年目である当年度は、就労移行支援事業が定着した一年であった。

- ①利用者への就労支援により、7人が企業等へ就職できた。
- ②利用者の訓練を行う企業等の開拓が進んだ。
- ③三重県障がい者委託訓練制度の活用をとおして、三重県・ハローワーク等との連携が図れた。
- ④サポステとの関係強化が進んだことで、利用見学者が増加した。
- ⑤ケース会議の充実や利用者の個別の支援内容に沿った面談によって、平均出席率が向上した。

### (2) 就労継続支援B型事業

就労継続支援B型は9月から開設。

- ①工賃獲得の為の受注が安定的に獲得できたこと。
- ②利用者の人事考課制度の導入により、工賃向上の仕組みができたこと。
- ③資格制度導入によって、利用者のやる気が向上したこと。

## 2 課題

### (1) 就労移行支援事業

- ①就職後の継続的なフォロー体制の整備
- ②ハローワーク、病院、企業等関係機関との関係強化
- ③定期的なプログラムの内容検討と改定
- ④工賃獲得の為の受注活動
- ⑤その他

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲と人数	支出実績(千円)
障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害者福祉サービス事業	①就労移行支援事業 ②就労継続支援事業B型(9月より開始) ③四日市障害者体育センターの指定管理(共同運営)	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	①②ユニバーサル就労センター ③四日市障害者体育センター	14人	四日市市及び近隣の精神障がい者等  15人	20,682

### (2) その他の事業 なし

平成30年度事業計画書

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

1 事業の方針

(1) 就労移行支援事業

①利用者目標

- ・定員登録：15人、利用者実績18人を目指す。
- ・目標出勤率：8.5割
- ・就職率 7人以上
- ・就職者へのフォローの充実を図り、離職者0人を目指す。
- ・ユニバからのドロップアウト0人を目指す。

②病院等、関係機関への営業活動の体制づくり

③スタッフ研修の充実（利用者理解、危機管理、記録の取り方等）

④個別支援計画に沿った支援内容の充実

⑤ワークを組み入れたプログラムの充実

(2) 就労継続支援B型

①スタッフ研修の充実（利用者理解、危機管理、記録の取り方等）

②受注活動の体制づくり

③現状の作業が難しい利用者のための作業の掘り起し

④利用者の体調管理のフォロー

⑤定期的なケース会議を実施

⑥利用者のアセスメント力や個別支援計画の内容を充実させる。

(3) 特定相談支援事業

①相談支援登録人数50人を目指す。

②新規支援登録者20人

③就労移行等への紹介5人

(4) 就労定着支援事業等の申請準備

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込み(千円)
障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害者福祉サービス事業	①就労移行支援事業 ②就労継続支援事業B型 ③指定特定相談支援事業 ④四日市障害者体育センターの指定管理(共同運営)	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日	①②③ユニバーサル就労センター ④四日市市障害者体育センター	14人程度	四日市市及び近隣の精神障がい者等	23,400

(2) その他の事業

なし